

スマートフォンをはじめとするモバイル通信機器の普及とデータ伝送の高速化で需要が拡大する通信デバイスなどを展開しています。

2015年3月期の業績

電源モジュール、高周波モジュールの売上が前期に比べ減少したものの、モバイル通信用デバイス(FBAR/SAW)の売上が増加し、売上高は16.8%増の495億10百万円となりました。

2015年3月期の主な取り組み

スマートフォンのキーデバイスであるモバイル通信用デバイスでは、SAW技術およびLTCC技術をコアとした商品の開発を行いました。急速に拡大するLTE方式に対して、小型で低消費電力のフィルタデバイスや整合回路を付加したフロントエンドモジュールなどを開発し、提案しました。さらに、FBAR技術を駆使した商品の開発にも注力しました。

複合機能モジュールでは、市場からの省エネ、小型薄型化に対する強い要求に応える各種電源モジュール、複合機能モジュール技術の構築を進め、多数の差別化商品を投入しました。特に独自開発の部品内蔵配線板「EOMINTM(イオミン)」は、スマートフォン用カメラモジュールの小型薄型化に大きく貢献することができました。

無線通信モジュールでは、近距離無線通信市場の拡大に

合わせ、小型低背モジュールに加え、自社製アンテナ搭載モジュール等、幅広いニーズに対応した商品を開発しています。特にBluetooth[®]、無線LANなどの異なる通信規格を同一モジュールで実現するコンビネーションモジュールの開発、商品化に注力しました。

さらに、ソフトウェアまでサポートするモジュールの開発と商品化を行い、デジタル民生機器やヘルスケア分野等の新たな通信市場に向けて提案を行いました。

今後の取り組み

FBAR/SAW技術を核とした高周波事業の展開、当社グループオリジナル技術から生まれた部品内蔵配線板「EOMINTM」を用いたスーパーハイエンド商品の積極的な市場投入とエネルギー市場に向けた回生システム等の電源事業の強化を図ります。

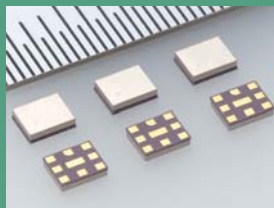
また、モバイル通信用デバイス(FBAR/SAW)では、次世代通信方式のメインであるLTEの普及に伴う搭載点数の増加に対応した生産体制の構築に努めます。

売上高の推移

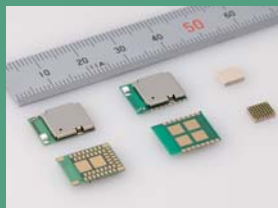


主な商品

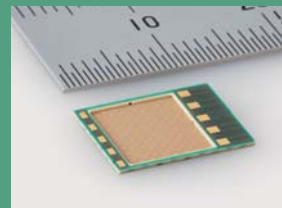
モバイル通信用デバイス(FBAR/SAW)、電源モジュール、高周波モジュール、部品内蔵配線板「EOMINTM(イオミン)」



モバイル通信用デバイス
(FBAR/SAW)



高周波モジュール



部品内蔵配線板
「EOMINTM(イオミン)」